

新型コロナウイルス感染症対策における 「外出自粛」による「家族関係の変化」調査を政策提言に活用 ～「ストレス度は徐々に上昇」「多子世帯ほどネガティブに変化する傾向」～

株式会社 Insight Tech（株式会社インサイトテック/代表取締役社長：伊藤友博）と東京都議会 無所属 東京みらい（幹事長：奥澤高広）は、新型コロナウイルス感染症対策における外出自粛の影響を検証するため、「ステイホーム週間における家族関係の変化に関する調査」を実施しました。（調査期間は4/28～5/10）

そのうち、1,749名の都民の回答をもとに、無所属 東京みらいから東京都に対する政策提言を行いました。

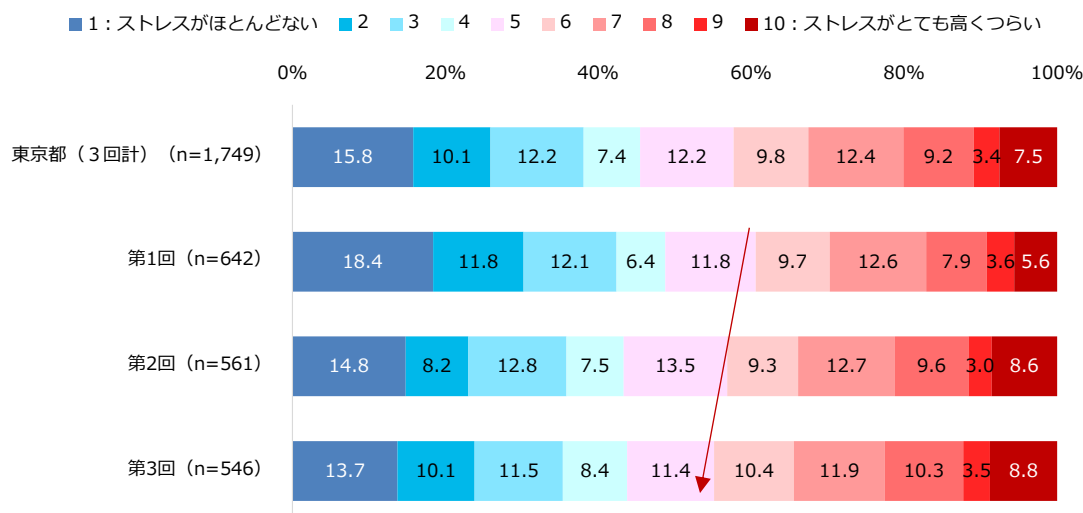
ステイホーム週間における家族関係の変化に関する調査

調査期間	有効回答数(都民回答数)
第1回(4/28～5/2)	4,659件(642件)
第2回(5/3～5/6)	4,013件(561件)
第3回(5/7～5/10)	3,880件(546件)

1. 調査結果概要

①外出自粛の長期化により、ストレス度は徐々に上昇

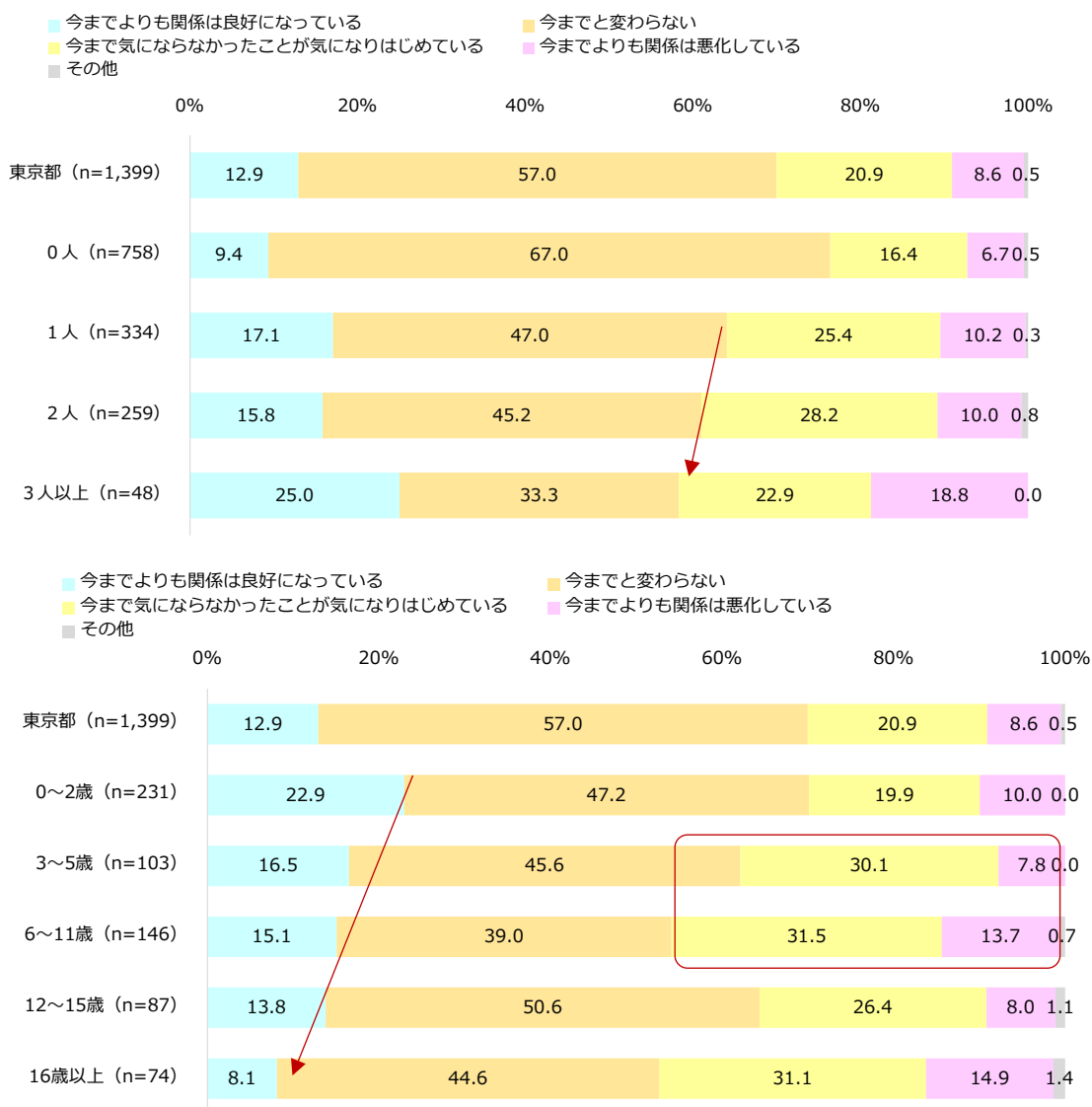
第1回(4/28～5/2)から第3回(5/7～5/10)にかけてストレス度が7以上となる比率が増加しており、都民のストレス度は時間の経過とともに高まったことが分かります。



② 子供の人数が多い世帯ほど家族関係がネガティブに変化する傾向

全体で見ると、約3割の家庭において、「今まで気にならなかったことが気になりはじめている」「今までよりも関係が悪化している」というネガティブな変化が起きています。特に、未成年の子供の人数が多いほどネガティブに変化する割合が大きくなる傾向があり、中でも、末子年齢が3～5歳、6～11歳の家庭において変化が大きいことが分かりました。

この背景には、外出自粛に加え、保育園や学校が休園・休校であることにより、家事や子育ての負担が増していることがあると考えられます。一方で、ポジティブな変化も見られていることから、家族内での役割分担や協力関係によって、その変化の方向性が変わることが示唆されています。



■株式会社 Insight Tech（代表者 伊藤友博）

2012年に設立、事業内容はマーケティング調査やレポート作成、自然言語処理・機械学習などの人工知能を利用したデータ解析受託等。

公式ホームページ <http://insight-tech.co.jp/>

■東京都議会 無所属 東京みらい（幹事長 奥澤高広）

東京都議会議員 奥澤高広（町田市選出）、斉藤れいな（多摩市・稲城市選出）、森澤恭子（品川区選出）の3人の会派。2019年1月に結成。これまでの政治家のあり方にとらわれず、政治と民間の間にある新しい答えをみつける挑戦をしています。

公式ホームページ <https://tokyo-mirai.net/>

〈紹介した調査データの販売・ご提供に関するお問合せ先〉

株式会社 Insight Tech 伊藤(イトウ)

MAIL: sales@insight-tech.co.jp

〈本件に関する報道関係の皆様のお問合せ先〉

株式会社 Insight Tech 広報担当:渡部(ワタベ)

TEL: 03-3342-6710 FAX: 03-3342-4944 MAIL: pr@insight-tech.co.jp